

生産者たちの自立への希望が込められたフェアトレード商品をぜひお試しください！

## コーヒー・紅茶を飲むという支援のかたち

特定非営利活動法人【パルシック】

【パルシック】は東ティモールとスリランカで、人々が自立した生活を営めるように民際協力活動を行っています  
また、フェアトレードを通じて、発展途上の生産者と日本の消費者の橋渡しをしています。

農林生協では下記のフェアトレード商品の斡旋を通じて、東ティモールとスリランカの地域住民の生活が改善される一端を担えればと考えております。ぜひご協力ください。

特定非営利法人 パルシック 東京都千代田区淡路町1-7-11東洋ビル3F  
Tel:03(3253)8990 Fax:03(5209)3453 Web:www.parcic.org

- ☆お申込方法 下記申込書を農林生協までFAXにてお申込ください
- ☆商品のお届け 毎月第2・4(水曜日)までに頂いたご注文により、翌週に商品を順次発送(お届け)いたします
- ☆配送料 別途送料がかかります
- ☆その他 商品の特性上、お申込締切日は設けません(ぜひ定期的にご利用ください)  
別添パンフレット掲載の「リキッドコーヒー」の取扱はありません

農林生協FAX 03(5575)0089

				お申込日	月	日
勤務先				電話番号 (内線)		
お名前				組合員番号		
商品名・斡旋価格	様式	内容量	お申込数	送料(本省お届けは無料)	金額	
カフェ・ティモール (コーヒー) 600円	豆	200g		500円 日本郵便 【エクスパック】		
	粉	200g				
	使い切り ドリッパーパック	10g×10P				
ウバ茶(紅茶) 650円	リーフ	100g		160円 【ヤマトメール便】		
	ティーバック	2.5g×20P				
※表示価格はすべて税込み価格です				お支払方法	<input type="checkbox"/> 座振替 ・ <input type="checkbox"/> 現金払い	合計金額

配達ご希望の方(本省にお届け)	
ドア番号	
お届け希望日	

☆本省の方はお届けいたします(送料は無料)

本省以外の職域の方(もしくは自宅へ送付)
〒
番

☆本省以外の方は別途送料がかかります



Sri Lanka  
Fair Trade Tea



### コーヒー、紅茶の ご注文の仕方

- 電話、FAX、メールのいずれかで  
ご注文ください。
- ホームページ  
(<http://parcic.ocnk.net/>)  
からもご注文頂けます。
- 商品に請求書と振替用紙を同封  
いたしますので、  
銀行振込または郵便振替で  
代金をお支払ください。
- ホームページの場合は、  
カードでのお支払いも可能です。

特定非営利活動法人 パルシック

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F  
ホームページ: <http://www.parcic.org>  
電話: 03-3253-8990 FAX: 03-5209-3453  
メール: [admin@parcic.org](mailto:admin@parcic.org)

PARCIC  
PARC  
Inter Peoples  
Cooperation



カフェ・ティモール

東ティモール フェアトレード・オーガニック・コーヒー  
East Timor Fair Trade Coffee



East Timor  
Fair Trade Coffee



ウバ紅茶

スリランカ フェアトレード・オーガニック・紅茶  
Sri Lanka Fair Trade Tea



パルシック <http://www.parcic.org>

### カフェ・ティモールができるまで

毎年11月頃、雨期が始まるとコーヒーの木にはいっせいに花が咲き、  
12月頃には実がつき始めます。  
6月に入るといよいよ赤く熟したコーヒーの収穫です。  
家族総出で実をひとつひとつ丁寧に手摘みします。  
チェリーと呼ばれるコーヒーの実を加工場に持ち寄って、  
洗ってゴミなどをとったあと、果肉除去機にかけます。  
果肉を除いたものをさらに一日中水につけて発酵させ、白くなった豆を  
2週間天日で乾燥させます。  
乾燥させた豆を首都のディリまで運び、薄皮の除去を行い、  
さらにサイズをふるいで分類したのち、麻袋に詰め、日本に向けて出港します。



日本では温度調整された湯の有機農産物用の倉庫に搬入されます。  
そして、皆様からのご注文に応じて、名古屋の東洋コーヒー株式会社へ送られ、焙煎(中深炒)し、  
豆の場合はそのまま、粉の場合は中抜きにして200グラムの専用のパッケージに包装します。  
できるだけ焙煎したての香高いコーヒーが皆様のお手元に届くように、ご注文を受けてから  
焙煎しています。

### ウバ紅茶

現在「スリランカ」と呼んでいる島国の旧国名は、「セイロン」と言いました。  
スリランカという名称をヨーロッパ人たちがなまってセイロンと  
呼びならわすようになったといわれています。英国から独立した後、  
1972年に国名もスリランカとなりました。  
英国を経由して世界に伝わったスリランカ産の紅茶はいまだに「セイロンティ」と呼ばれています。  
産地によって「ヌワラエリヤ」、「ディンブラ」、「ウバ」、「キャンディ」、「ルフナ」という  
5種類に分類されています。中でも、特に「ウバ茶」は、香りがほの甘く、  
またコクがあり飲みが強いのが特徴です。  
ハプタレ郡の1200メートルほどの高地にあるグリーンフィールド・バイオ農園では、  
朝早くまだ霧の立つうちに女性たちが茶の新芽を摘みます。そして、茶葉は、  
その日のうちに農園内にある工場に運び込まれます。湯風に当て、揉んだあと、  
固まり状になった葉を解きほぐし、発酵させるという工程で紅茶になります。



横浜港に入荷したウバ紅茶は、そのまゝ日本茶の産地として有名な静岡県掛川市に送られます。  
そして、掛川の茶畑に囲まれた(株)流通サービスの工場で、リーフ用の葉は、計量して専用のパッケージに、  
ティーバッグ用の葉は、中で茶葉がジャンプできるような三角形の袋に詰めてからパッケージに包装します。  
金属探知器による異物チェックなどもこの工場で行ない、皆様のもとに送られます。

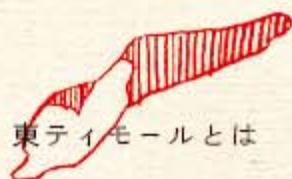


## 東ティモールの支援活動

パルシックは、1999年から東ティモールへの支援を開始しました。当初は、インドネシア軍と民兵による殺戮や破壊に対する緊急人道支援でした。その後、2002年の独立に伴って、この国の唯一の輸出品であるコーヒー生産者の支援を開始しました。コーヒー生産は高台の山の中で行われており、人々は他の収入源もなく、当時、年間の所得が180ドルくらいにしかありませんでした。パルシックは、生産者が協同組合をつくるのを助け、集落に加工場をつくって自分たちで加工できるように技術指導を行い、質の良いコーヒーをフェアトレードとして輸入します。



### 東ティモールとは



東ティモールは21世紀になって最初に誕生した国です。独立後、人々は主権を取り戻したことを喜び、新しい国づくりに大きく期待しました。

しかし、インフラや産業が未発達な東ティモールでは経済発展はなかなかすすまず、村落部での貧困は特に深刻です。2008年2月には大統領と首相の襲撃事件が起こるなど、政治的にも社会的にも安定しているとは言えません。失業率は依然として高く、日用品や食料品はインドネシアなどからの輸入に頼っており、経済的な自立が当面の課題となっています。

東ティモールでは農業が盛んですが、特にコーヒーは主要産業であり、実に国民の1/4が従事しているといわれます。コーヒー生産にたずさわる村落住民は、コーヒーの収穫時期に得られる年に一回の現金収入に頼っています。しかし、国際価格の変動により農民の収入は左右されるため、安定した収入源とはなっていないのが現状です。

### リキッドコーヒー

1パック(1000ml) 600円(税抜き)

東ティモールのコーヒー豆で香高いリキッドコーヒーをつくりました。暑い日に冷蔵庫から取り出して、さっぱりとした味わいを。



### ドリップパック

1箱(10パック入り)  
800円(税抜き)  
1パック  
100円(税抜き)

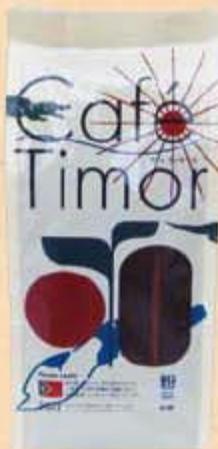
ご家庭で、職場で、ちょっとコーヒーを飲みたいとき、旅行先でいつもの美味しいコーヒーを味わいたいとき、ドリップパックは役立ちます。お友達への贈り物にも喜ばれます。



### コーヒーを飲むという支援のかたち

生産者たちの自立への希望が込められたフェアトレード・コーヒーをぜひお試しください。

カフェ・ティモール  
(豆/粉200g/袋)  
1袋 700円(税抜き)



### コーヒー生産者の声

(クコロ集落の代表)

ヴィセンティ・ダ・コンセサオン・シルバさん

「組合に参加する前は、摘んだコーヒー・チェリーを遠くまで売りに行かなければならなかった。いまは自分たちの集落内で自分たちの手でコーヒー加工ができる。」

### 有機認証を取得しました

2007年、「カフェ・ティモール」は有機認証を取得しました。もともと、農薬も化学肥料も使われていない東ティモールのコーヒーですが、JAS有機認証の厳しい基準をクリアしたことにより「有機コーヒー」としてお届けできるようになりました。

## ジャフナ県での活動

スリランカでは、1983年以来、多数派のシンハラ人によって構成されている政府軍と少数民族タミル人の分離を求めたLTTE(タミル・イーラムの解放の虎)との間で26年間におよぶ内戦が続き、双方に多くの死者を出すと同時に、タミル人が多く住む北東部では住宅、学校、道路などが破壊されました。パルシックは、スリランカ北端のジャフナ半島で、2004年から漁村の支援を開始しました。漁民たちが漁業を再開できるように漁具を提供し、冷蔵施設もない漁村で漁獲を保存できるように干物作りの技術指導を行いました。



### スリランカとは



東ティモールは21世紀になって最初に誕生した国です。独立後、人々は主権を取り戻したことを喜び、新しい国づくりに大きく期待しました。

しかし、インフラや産業が未発達な東ティモールでは経済発展はなかなかすすまず、村落部での貧困は特に深刻です。2008年2月には大統領と首相の襲撃事件が起こるなど、政治的にも社会的にも安定しているとは言えません。失業率は依然として高く、日用品や食料品はインドネシアなどからの輸入に頼っており、経済的な自立が当面の課題となっています。

東ティモールでは農業が盛んですが、特にコーヒーは主要産業であり、実に国民の1/4が従事しているといわれます。コーヒー生産にたずさわる村落住民は、コーヒーの収穫時期に得られる年に一回の現金収入に頼っています。しかし、国際価格の変動により農民の収入は左右されるため、安定した収入源とはなっていないのが現状です。

### 女性への支援

グリーンフィールド紅茶園では、紅茶の売上の一部で牛を買って、茶摘をする女性たちに提供しています。女性たちは牛の乳をしばって収入の足しにしたり、子供たちに飲ませたりします。紅茶園は、この牛の糞をみつめて、紅茶の木の堆肥にしています。

### オーガニック

この農園では、農薬も化学肥料も使わずに紅茶の栽培をしているので、ホッとすると、まるやかな味わい特徴です。無農薬で栽培されたウバ茶は、洗みがないので、そのまま熱い湯を注いだブラックティーで飲んでも美味ですが、濃い目に入れてミルクをたっぷりくわえたミルクティーにしても美味しくいただけます。

### 紅茶を飲むという支援のかたち

生産者たちの自立への希望が込められたフェアトレード紅茶をぜひお試しください。



ウバ紅茶(リーフ/ティーパック)  
1袋 800円(税抜き)

### 紅茶生産地について

グリーンフィールド・バイオ農園

パルシックがお届けするウバ紅茶は、ウバ県のハプタレ部の高地で栽培されたハイグロウン・ティーです。ここは世界の紅茶王と呼ばれているトーマス・リプトン卿が19世紀末に紅茶園を開いた場所のすぐ近くです。グリーンフィールド・バイオ農園では、農薬も化学肥料も使わずに茶を栽培しており、有機JAS認証も取得しています。またフェアトレード認証も取得しています。

<http://www.parcic.org>

PARCIC  
PARC  
Interpeople's  
Cooperation